

食育月間の取り組み（平成22年6月）

平成22年度の食育月間において、沖縄県との共催で、食生活の乱れが心配されている若者（大学生）に重点をおいた「出前講座」を、県内3カ所の大学〔琉球大学（6月9日）、名桜大学（6月21日）、沖縄キリスト教短期大学（6月30日）〕で開催し、学生等96名の参加がありました。

講座では、1コマ目に「健康改善に必要なこと」と題し、県民の健康の実態と「健康おきなわ21」の取組を沖縄県から紹介し、2コマ目に食生活改善のツールとして、沖縄版「食事バランスガイド」の説明を沖縄総合事務局が行いました。

「移動消費者の部屋」では、出前講座と併せて、琉球大学（6月1日～9日）、沖縄キリスト教短期大学（6月28日～30日）の2カ所において、「食事バランスガイド」の普及・啓発及びお米食の推進、食料自給率等のパネル展示やパンフレットの配布を行いました。

また、出前講座以外では、沖縄県主催の「食育に関するパネル展」（6月14日～18日）に参加した他、合同庁舎1号館の食堂及び喫茶室でも食育パネル等の展示（6月1日～30日）を実施し、食育月間の期間中にパンフレット1,000部以上を配布しました。

【出前講座の様相】



琉球大学



名桜大学



沖縄キリスト教短大

【展示の様相】



琉球大学



沖縄キリスト教短大



県庁ホール



食堂

◇「消費者の部屋」特別展示～食育パネル展～◇



～「食育パネル展」の様子～

合同庁舎1階の「消費者の部屋」に隣接する行政情報プラザを活用し、「食育パネル展」（6月14日～18日）を開催しました。

会場には、食事バランスガイド、教育ファーム、お米食の推進等のパネルやフードモデルの展示、食育関係のDVD放映の他、パソコンを活用した「食事バランスガイド」の体験コーナーを設置しました。期間中、約170名の来庁者があり、アンケートにも答えて頂きました。